

平成 23・24 年度 土木学会複合構造委員会 第 3 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 23 年 9 月 8 日（木）15:30～18:30
2. 場 所：愛媛大学 法文学部講義棟 1 階 102 教室
3. 出席者：杉浦委員長，島副委員長，西崎幹事長，池田幹事，大垣幹事，大山幹事，奥井幹事，
斉藤幹事，武知幹事，古市幹事，溝江幹事，渡辺幹事
（欠席者：葛西幹事，下村幹事，広瀬幹事，松本幹事，竹原事務局）
4. 配布資料
資料 幹 3-0 平成 23・24 年度第 3 回複合構造委員会幹事会議事次第
資料 幹 3-1 平成 23・24 年度第 2 回複合構造委員会幹事会議事録（案）
資料 幹 3-2-1 第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 優秀講演者表彰規定
資料 幹 3-2-2 第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 優秀講演者評価留意事項
資料 幹 3-2-3 第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 優秀講演者評価表
資料 幹 3-2-4 第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 学会誌 10 月号掲載記事
資料 幹 3-2-5 第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム CD ジャケット案
資料 幹 3-2-6 第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 行事計画書
資料 幹 3-2-7 第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 工程表
資料 幹 3-3-1 出版関連報告
資料 幹 3-3-2 複合構造シリーズ 05 の出版のお知らせ
資料 幹 3-4-1 津波減災検討委員会委員就任依頼
資料 幹 3-4-2-1 複合構造委員会 東日本大震災被害調査小委員会 設立趣意書
資料 幹 3-4-2-2 複合構造委員会 東日本大震災被害調査小委員会 活動内容案
資料 幹 3-4-2-3 複合構造委員会 東日本大震災被害調査小委員会 第 1 回幹事会議事録案
資料 幹 3-5-1 （欠 番）
資料 幹 3-5-2 （欠 番）
資料 幹 3-5-3 （欠 番）
資料 幹 3-5-4 H207 樹脂材料による複合技術研究小委員会 複合構造レポート目次案
資料 幹 3-5-5 （欠 番）
資料 幹 3-5-6 （欠 番）
資料 幹 3-5-7-1 H210 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会 出版企画書
資料 幹 3-5-7-2 H210 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会 販売促進活動計画書
資料 幹 3-5-8 H211 FRP と鋼の接合方法に関する研究小委員会 出版計画案
資料 幹 3-6 複合構造の理論と設計（仮題）に対する査読・意見紹介結果と対応
資料 幹 3-7 JCI からの依頼事項

5. 議事内容

(1)委員長挨拶

幹事会開催にあたり，杉浦委員長より挨拶があった。

(2)平成 23・24 年度第 2 回複合構造委員会幹事会議事録の確認（資料 幹 3-1）

武知幹事より，前回幹事会議事録案が読み上げられ，一部語句修正の上，承認された。

また，本議事録に関連し，杉浦委員長，島副委員長より，論文集 A1 分冊編集小委員会の委員選定

に関する現況について説明があった。さらに、池田幹事より、国際委員会から依頼のあった国際活動に関するアンケート調査への回答の報告があった。

(3)第9回復合・合成構造シンポジウムについて（資料 幹 3-2-1～3-2-7）

溝江幹事より、第9回復合・合成構造シンポジウムの準備状況について説明があった。

提示された優秀講演者表彰規定案（土木学会全国大会の優秀講演者表彰規定をベースに作成）について、一部の語句修正を行うとともに、表彰者数を評価対象者数の2割を上限とすることに変更することとなった。また、これらの修正、変更を行った後に委員会にてメール審議を行うこととなった。

提示されたCD-ROMのジャケット案について、案1を採用することとなった。

その他、行事計画書の変更点や講演原稿の提出状況について説明があった。

(4)出版関係（資料 幹 3-3-1, 3-3-2）

武知幹事より、出版について説明があった。

平成24年度の出版企画書について、対象となる小委員会のうち、H207委員会、H210委員会、H211委員会は提出予定であるとのことであったが（下記(6)小委員会報告審議事項参照）、H211委員会については成果がH205委員会のものであることから、別途成果報告が必要である旨を小委員会に連絡することとなった。また、H208委員会においては、第4回FRP複合構造・橋梁シンポジウムでの発表を成果報告として考えているため企画書は提出しないとのことであり、H209委員会においては成果報告として出版を考えているとの連絡は受けていないが、念のため確認するとのことであった。

複合シリーズ 05「鋼・コンクリート複合構造の理論と設計（仮）」の出版にあたり、構造工学委員会に送付予定の「出版のお知らせ」について、構造工学シリーズ 9Aの執筆は本委員会の前身である連合小委員会が担当していたことを確認した。なお、本通知は書籍タイトルが決定した後に送付することとなった。

(5)東日本大震災被害調査小委員会の設立について（資料 幹 3-4-1, 3-4-2）

杉浦委員長、西崎幹事長より、東日本大震災被害調査小委員会の設立について説明があった。

土木学会より津波減災検討委員会（仮）委員就任依頼があり、杉浦委員長が8月31日に行われた第1回委員会に出席され、沿岸付近の構造物に複合構造を採用した場合の2段階（超レベル2を含めると3段階）の津波への対応可能性について本小委員会で検討することとなったとの報告があった。

提示された設立趣意書について、委員はまだ確定しておらず、また活動状況に応じて委員を増員することを考えているとのことであった。また、本趣意書について委員会にてメール審議を行うこととなった。

提示された活動内容案について、地振動による被害が仮に甚大ではなかったとしても、5年後10年後に影響が現れると予想される被害は生じていないか確認してほしい、補強により複合化された構造物にとっては今回初めて大きな作用を受けたことになるため、これら構造物の被害状況について整理してほしいとの意見が出された。

(6)小委員会報告審議事項（資料 幹 3-5-4, 3-5-7, 3-5-8）

樹脂材料による複合技術研究小委員会（H207）

大垣幹事より、資料 幹 3-5-4に基づき、成果報告書となる複合構造レポートの目次案について説明があった。また、平成24年4月頃に講習会を開催する予定であるとのことであり、これに合わせ出版企画書を提出することとなった。

複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会（H210）

溝江幹事より、資料 幹 3-5-7に基づき、成果報告書となる複合構造レポートの出版企画書について説明があった。平成25年6月頃に講習会を開催する予定であるとのことに対し、出版は平成25

年4月でもよいと出版企画書の提出は来年度でもよいとの意見が出され、小委員会にて再度検討することとなった。また、今年度提出する場合には目次案を作成し添付することとなった。

FRPと鋼の接合方法に関する研究小委員会（H211）

西崎幹事長より、資料 幹 3-5-8 に基づき、H205 委員会の成果となる複合構造レポートの出版計画ならびに出版企画書について説明があった。レポートのタイトルは「・・・の補修補強事例集」がよいとの意見が出されたほか、出版にともなう講習会は開催しないとの方針に対し、販売促進計画について再度検討することとなった。また、上記(4)出版関係のとおり、本小委員会においては、別途 H211 委員会としての成果報告が必要であることが確認された。

(7)複合構造の基礎に関する書籍の審議について（資料 幹 3-6）

大山幹事より、複合構造シリーズ 05「鋼・コンクリート複合構造の理論と設計（仮）」の査読、意見照会結果への対応状況について説明があった。査読、意見照会結果に対して一部未対応の箇所があるため、次回幹事会までに対応を完了させ、その最終結果について報告の上、審議することとなった。

(8)その他

西崎幹事長より、資料 幹 3-7 に基づき、JCI から依頼のあった ISO 原案（PC ケーブルのグラウト関連）に対する意見照会について説明があり、審議の結果、複合構造委員会からは意見は提出しないこととなった。

杉浦委員長、溝江幹事より、H203 維持管理小委員会の成果報告書である複合構造レポート 04「事例に基づく複合構造物の維持管理技術の現状評価」に関連し、日経コンストラクションより取材を受けたとの報告があった。

渡辺幹事より、地震工学委員会が企画した平成 23 年 9 月 9 日開催の研究討論会「学会における設計資料の標準化とそのあるべき姿について考える」において、複合構造委員会における技術基準のオーソライズの方法について話題提供する予定であるとの報告があった。

(9)第4回幹事会

平成 23 年 10 月 26 日（水）14:00～17:00 土木学会にて開催予定。

また、第 5 回幹事会開催日時が平成 23 年 12 月 15 日（木）14:00～17:00 から平成 23 年 12 月 7 日（水）14:00～17:00 に変更となった。

以上（記録・文責 溝江）